

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 584

事務事業名	公共下水道污水管維持管理事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	上下水道局		
課名	下水道工務課		
課長名	坂野 憲一	内線	50
担当者名	野田 一夫	内線	51

基本目標	050304	機能的で環境と調和したまち
政策		快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		上下水道の整備
関連施策		

会計	大村市下水道事業会計		
款	2	下水道事業費用	
項	1	営業費用	
目	1	管渠費	
事業コード			

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画	大村市公共下水道事業計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	公共下水道区域内の住民及び污水管渠		
意図 対象をどのような状態にしたいか	衛生的で快適な生活と良好な環境を保全維持していくために、污水施設の適切な維持管理を継続的に実施して、十分にその機能を発揮させる。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	<p>污水管渠の計画的な点検や調査を行うことで、陥没事故、管路閉塞、浸入水等を防除する。又、巡回パトロール及び市民の通報等により、速やかに管路施設損傷箇所の補修・改善を行い、事故の未然防止及び施設の機能回復を図る。</p> <p>認可面積 A=2,411ha、整備済面積 A=2,178ha、全体計画区域人口 82,898人、処理区域人口 82,718人、普及率 99.8%、整備済延長 L=390,138m</p>		
事業期間	昭和 49 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	下水道法第3条		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 污水管補修延長	計画値	600	600	600	600	
		実績値	311	366	328		
	達成度	%	51.8%	61.0%	54.7%		
	② 污水管清掃・調査延長	計画値	700	700	700	700	
実績値		m	1,271	2,959	904		
達成度	%	181.6%	422.7%	129.1%			
成果指標	① 污水管維持管理に関する通報件数	計画値	20	20	20	20	
		実績値	件	29	31	50	
	達成度	%	145.0%	155.0%	250.0%		
	② 有収率(日平均汚水量)	計画値	90	90	90	90	
実績値		%	91	90	87		
達成度	%	101.1%	100.0%	96.8%			

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	39,923	54,258	41,153	55,751	55,699	55,699	55,699	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	39,923	54,258	41,153	55,751	55,699	55,699	55,699	
一般財源								
② 人件費(千円)	15,238	15,087	12,787	15,521	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	1.85	1.80	1.65	1.99	管路施設 L=1,300m	管路施設 L=1,300m	管路施設 L=1,300m	
時間外勤務(時間)	268	557	390	340				
嘱託等人数(人)		0.20	0.20	0.20				
フルコスト(①+②千円)	55,161	69,345	53,940	71,272				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	下水道管渠に起因する陥没等の事故を未然に防ぐため、国道や県道、市道においては、道路管理者との連携を図り、道路工事と合わせたマンホール高さ調整等を行った。また、老朽化が進行していた東浦地区の管きよを補修し、不明水の縮減を図った。 硫化水素ガスに起因する劣化状況の調査を行い、対策が必要な箇所の把握を行った。
事業が抱える問題・課題等	不明水対策箇所の選定が難しく、より効果的な分析が必要であることや、近年、全国にも、硫化ガスによる劣化等に対する懸念が広がっているため、今後も定期的に調査データを蓄積し、適切な対策を行っていくが必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
当事業は、他の公共施設管理者と連携して同時施工で実施したり、年間委託工事により路面補修工事を発注する等によりコスト縮減に努めている。今後も公共工事コスト縮減対策大村市新行動計画に基づき、さらなるコストの縮減を図る。 維持管理費は、下水道法の規定で補助対象外となっていることから、その費用は下水道使用料を徴収することで賄っており、現在のところ見直しの余地はない。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	調査データを台帳システムに維持管理情報を蓄積し、管路閉塞や不明水対策を効率的に実施できるよう分析を進める。 また、施設点検や巡視の頻度等のマニュアル化を進める。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	路面陥没による事故防止や施設の耐用年数を延ばすことができるとともに、コスト縮減にも貢献する。又、雨水の不明水対策により、処理場への流入負荷を軽減することができる。

1次評価	今後の方向性		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定			終期設定		
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。